

## 議事概要

件名	長崎市中心部の交通結節等検討会議（第3回）
日時	令和2年7月31日（水）15:00～17:00
場所	長崎県農協会館7階701～704会議室
協議者	各委員（別紙参照）

### 《主な質疑》

#### 【議事1 検討会議（第2回）での意見】

- 全委員
- ・特に意見無し。

#### 【議事2 長崎駅周辺地区での意見聴取の結果概要】

- 全委員
- ・特に意見無し。

#### 【議事3 長崎駅周辺地区の対策案絞り込み】

- 全委員
- ・異存なし。

#### 【議事4 基本計画（案）】

##### [委員A]

- ・三方分岐を検討すると前回会議で発言したのは三方分岐案と軌道新設案の両案とも除外することなく検討していきたいということ。
- ・三方分岐も短絡ルートも検討していくが、既に決定しているというわけではない。

##### [事務局]

- ・運行の安全上の課題もあると伺っておりますので、今後十分に検証しながら実現可能かどうかも含め検討していきたい。最終的には短絡ルートの設置を目指すというのが大前提で、その方向性をもって進めていきたい。

##### [委員A]

- ・そこら辺を頭に置いていただきながらであれば、基本計画案の三方分岐を検討という文書も、そのまま構わない。

##### [委員B]

- ・現在の松が枝のタクシー乗り場は船が着くと歩行者通路となってしまう機能していない。新しくするのなら機能するものを整備してほしい。
- ・今のバスターミナルはタクシーに乗る際に雨にぬれる。新しいバスターミナルはタクシー乗り場も十分検討してほしい。

##### [事務局]

- ・配慮していきたい。

##### [委員C]

- ・基本計画の案は賛成
- ・短期的と長期的という表現があるが、大まかなスケジュールを示してほしい。
- ・三方分岐は交通渋滞だけでなく、事故のリスクも非常に懸念される。
- ・短期的といえども、その是非についてきちんと解析も含めて検証して判断してほしい。

次のページに続く

[事務局]

- ・スケジュールとして本年度より2バース化の事業がスタートし、令和7年度頃に岸壁及び埋め立ての完了を目標としている。
- ・その後数年をかけて背後地の再整備、再開発というものが進んでいくと想定している。
- ・その背後地の整備と合わせて路面電車の延伸を実施、直通運行のための三方分岐もおおむね同じ時期になるのではと考えている。
- ・長期的な短絡軌道は南北幹線の北伸後（15年後）、南伸と合わせて整備することになるものと考えている。
- ・新しいバスターミナルや歩行者デッキについては、地元関係者の皆様と意見を交わしながら1～2年かけて、県で具体的な姿を検討していきたい。
- ・事業スケジュールもそれによるため、わかり次第、報告する。

[委員D]

- ・デッキが出来上がるまでの間、今の交通会館はそのまま利用する。デッキが出来上がる前に交通会館だけ先行して建て替えるということは無いと思っているが、どういう形になるのか。
- ・歩道橋は新しく整備されるのか。
- ・バスの運行は現在のままか。
- ・デッキができるまでに、県庁跡地のバスベイはできるのか。
- ・新幹線が開業後、デッキができるまでの間が心配。

[事務局]

- ・新しいバスターミナルを建設するまでは現在の交通会館を運用したい。
- ・工事期間中においては駅の周辺で仮設のバスターミナル機能を確保したい。
- ・歩道橋は当面は既存のものを活用し、新しいデッキができると撤去する。
- ・バスの運行は基本そのままと考えるが、新幹線開業に合わせて事業者の方でいろいろ考えられる可能性はあると思う。
- ・県庁跡地は現在、埋蔵文化財調査と並行し基本構想の策定も進めているところ。
- ・先行的な整備の中で、例えば暫定的にバスベイを設置してみて、ニーズを探るといったようなことも駅の検討と並行して進めたい。

[委員E]

- ・コロナで交通需要が変わった。今の利用者をキープしないといけない。
- ・整備イメージの実現に向けた取り組みについて、このような状況の変化をよく見ながら交通事業者の意見も聞いて進めていただきたい。
- ・国道の渋滞が助長されないように収容台数の検討を願いたい。
- ・デッキは整備後に維持管理費なども生じてくるため、過大なものにならないよう、需要を把握し、適切な規模での整備検討を進めてほしい。

[事務局]

- ・交通事業者には負担にならないよう、十分意見を聞いてやるべきであり、事業者に一方向的に押し付けることはせず、事業者の経営環境や意向を確認した上で、皆さんが協力していただける内容の計画にしたい。
- ・国道の交通渋滞については先般開催した幹事会で県警からも同様の意見をいただいた。
- ・現時点ではバスの台数及び出入口について詳細はつめられていないため、今後の検討となるが、当然、駅前の国道の流れを阻害するような計画になってはいけないと考えているため、今後、シミュレーション等も実施しながら、影響がないように計画を進めていく。
- ・デッキの規模は維持管理費用も加味して検討をしていく。
- ・できればエリアマネジメンタ的な発想などの可能性も検討していきたいと考えている。

[委員F]

- ・幹事会で内容を調整されたということで実現できる形になってきた。
- ・現在コロナの影響はあるが、この対策案は数十年先にわたる話であり、コロナ後の方が長い場合、コロナ後をにらんだ使われ方を考えておかないといけない。
- ・都市部から地方部へ人も流れる。
- ・そういうニーズを引き入れられるだけの魅力あるプロジェクトになっているかどうかという点で見たい。
- ・コロナ禍での厳しい状況下でのプロジェクトではあるが、地方がもう一度見直される時代の長崎の未来を支えるプロジェクトということを心に留め置いた上で、実施計画に向け調整をしていただきたい。

[委員G]

- ・先にも意見がでたが、新幹線ができた直後からこの計画につながるまでをスムーズにいくように調整を図ってもらいたい。

[委員H]

- ・交通安全などについては今後協議の際に意見させていただく。その折にはよろしくお願ひしたい。

[座長（副知事）]

- ・基本計画について異議無いか。

[全委員]

- ・異議なし。